

# 指定管理者管理運営状況評価

## 1 概要

### (1) 施設名称

施設名	県立鴨川青年の家
指定管理者	公益財団法人千葉県教育振興財団
指定管理期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
評価対象年度	令和2年度
第三者評価の有無(今回)	無
施設所管課	教育庁教育振興部生涯学習課

### (2) 施設の設置目的等

設置目的	青年の家は、団体生活を通じて青少年の健全な育成を図ることを目的とする。
指定管理者が行う業務の範囲	①青少年の団体生活訓練に関すること。 ②青少年の生活指導及び技術指導に関すること。 ③青少年指導者の研修に関すること。 ④前各号に掲げるもののほか、青年の家の目的を達成するために必要な業務。

### (3) 施設の運営状況

年度	利用者(人)	事業費等の内訳(千円)				
		指定管理料(A)	その他維持管理費(B)	使用料等県収入(C)	県の収支(C-A-B)	(参考)利用料金
30	69,922	101,765	15,787	103	△117,449	16,542
元	59,859	102,708	7,074	103	△109,679	14,080
2	18,924	103,650	23,093	105	△126,638	3,352

※その他維持管理費・・・維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費(指定管理料に含まれるものを除く)

## 2 評価結果

### (1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	施設の設置目的・法令等の遵守等	A ・法令等を遵守し、施設の設置目的に沿って適切に実施されている。 ・外部評価委員会を2回実施するなど、外部の意見を積極的に取り入れ、施設の充実に努めている。
	安全性の確保	A ・危険箇所マップの作成や、カッター研修運営マニュアルにおいて利用者への安全面の注意事項を記載するなど、安全への配慮が適切に行われている。
	適切な管理運営	A ・委託業者による清掃業務の他、施設職員による環境整備を定期的に行っている。 ・講師を招いて障害者理解に関する研修を実施したり、車いすを複数台常備したりするなど、要配慮者への配慮がされている。
	適切な財産管理	A ・保守点検が定期的に行われ、施設環境の保全に努めている。

事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーカヤック等、「海」という地域の特色を十分に生かした事業が計画・実施されている。</li> <li>・事業実施前の研修や、振り返りが充実しており、課題や成果を見出し、当日の運営や次年度の計画に生かされている。</li> </ul>
	サービスの向上 地域の連携等	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元市町村や近隣の学校、地域の団体等と連携を図りながら、様々な事業を企画・運営しており、地域の活性化に繋がっている。</li> </ul>
施設利用状況に関する事項 利用者数 稼働率 料金収入		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのリニューアルやSNSの活用を通じて、利用者の拡大が図られている。</li> <li>・利用料金収入は適切に管理されている。</li> </ul>
運営体制		S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を安全に実施するための指導研修や障害者理解・個人情報保護等の研修が行われ、職員の資質向上が図られている。</li> <li>・職員の労務管理が適切に行われている。</li> </ul>
収支状況 財務状況		S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理経費削減に努め、適正な収支決算がなされている。</li> <li>・財務状況について、特に問題はない。</li> </ul>
利用者意見の反映 利用者満足度		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者意見を反映するため、新たにホスピタリティー委員会を設置し、利用者満足度の向上に努めている。</li> <li>・利用者満足度は90%を超える高い評価を得ている。</li> </ul>
総合評価		良好	各項目の合計得点 23点 / 30点満点 (76.6%) 各項目の評価点数の平均点 2.3点

## (2) 特記事項

特記事項	特に評価される点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営や事業の実施に関する課題を常に分析し、次への改善に繋げるなど、よりよい施設運営に努めている。</li> </ul>
	次年度に向けて 改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閑散期における利用者拡充のためのさらなる具体的方策が望まれる。</li> <li>・今後の施設運営を見据えたボランティア育成のための活動が望まれる。</li> </ul>
	前年度評価で改善が望まれると指摘された点 とその改善状況	(改善が望まれるとされた点) <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の利用者数に満足することなく、閑散期も含め利用者拡充のための具体的方策が望まれる。</li> </ul> (改善状況) <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者や高齢者も楽しめるスポーツである「ペギーボール」を導入プログラムに導入するなど、利用者の拡充が図られている。</li> <li>・新たに企業研修やゼミ合宿、部活・サークル活動などを対象とする広報計画が立てられている。</li> </ul>

## (3) その他

第三者評価における その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価は実施せず（平成30年度に実施）</li> </ul>
---------------------	--